

■FM事業が本格的に始動した年

FM事業の本格的な始動に当たり、総合プロデューサー(NPO法人文化現場代表・小川弘幸氏)を擁立すると共に、流域市町、有識者、流域関係者、新潟水俣病被害者支援団体などが参画する「FM事業実施検討会」を立ち上げた。



実施検討会の様子

■FM事業の方向性を検討

実施検討会は11月から、計7回開催された。まず新潟水俣病の現状や「もやい直し」に対する共通認識を深めた上で、FM事業の方向性を段階を経て定めていくため、ワークショップを活用した意見集約の手法を用いて討議された。

成果としては、事業理念を策定できたこと、現状認識がある程度深まったことなどだったが、ワークショップという手法上、アイデアを実践可能かつ効果的に深める機会が少なく、具体的な全体計画の策定や個別事業の企画は来年度以降に持ち越しとなった。

